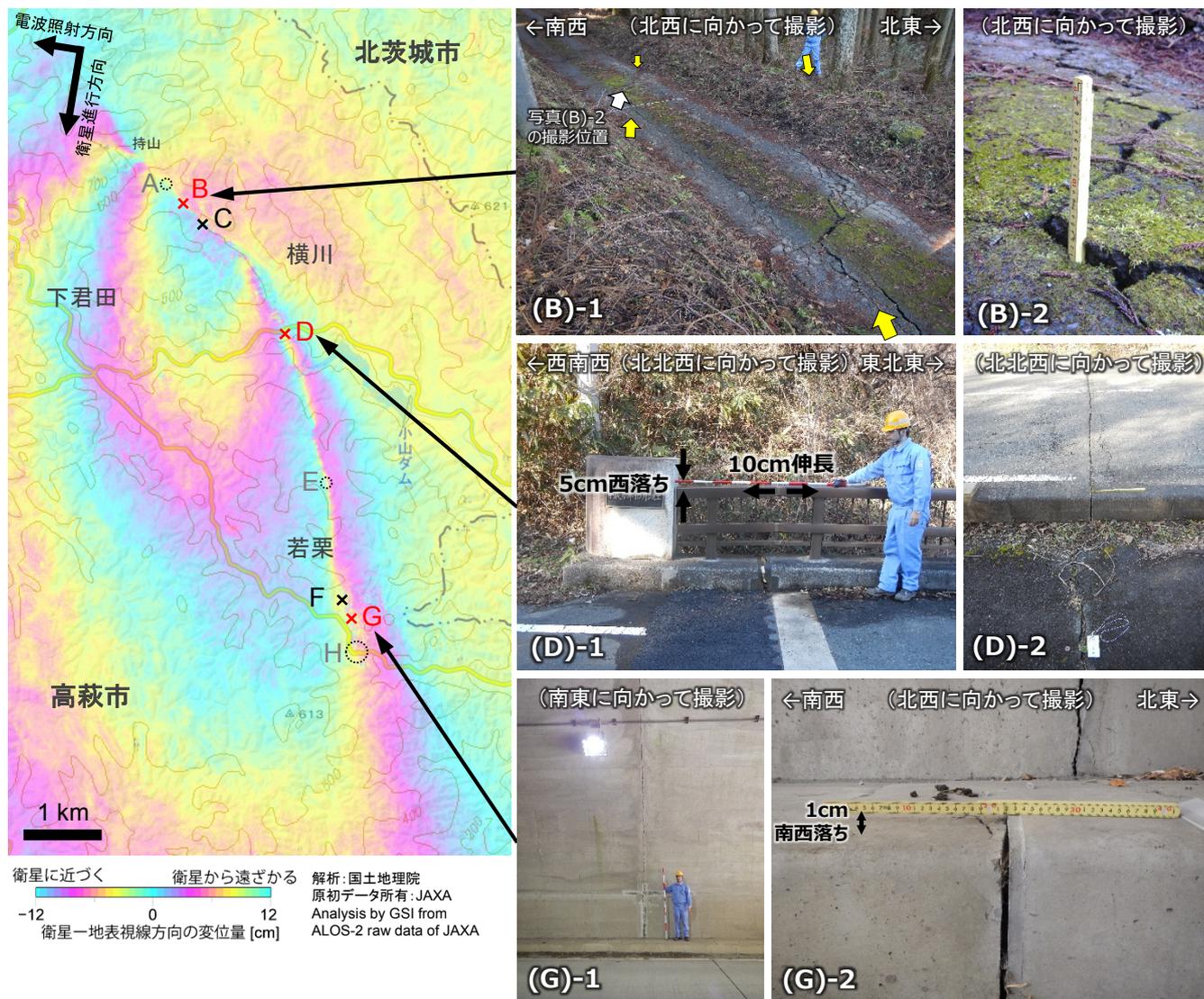


平成28年(2016年)12月28日茨城県北部の地震(M_j6.3)に関する 合成開口レーダー解析結果に基づく地表変形の現地調査結果

高萩市横川地区から若栗地区にかけてのSAR干渉画像と現地調査結果
(現地調査は2017年1月10日に実施)



- 地点A: 人工構造物がなく、地表変位は確認できず。最近倒れたと思われる樹木を確認したが、いつ倒れたものかは不明。
- 地点B: アスファルト道路上に2本の新鮮な開口亀裂を確認(写真(B)-1) (*). 亀裂の走向はN35°W, 開口幅3~8cm, 上下変位量最大3cm(南西落ち: 写真(B)-2)で、亀裂の延長上の林地内土壌にも同走向の開口亀裂を確認(写真(B)-1の人物の足許)。これらは北東-南西方向に軸をもつ伸長場によって生じたと推察。SAR干渉画像で検出された変位と調和的。
- 地点C: アスファルト道路路肩部に新鮮な開口亀裂を確認。亀裂の走向はN40~50°WでSAR干渉画像の変位の不連続の走向と調和的だが、北東側が沈下しており、路肩の重力性変形によると推察。
- 地点D: 新小山橋西詰において、つなぎ目の上下変位(3~5cmの西落ち)と欄干の伸び(最大10cm)を確認(写真(D)-1) (*). その西側のアスファルト道路及び歩道縁石においては、開口亀裂群(走向N20~25°W, 開口幅0.5~2cm, 上下変位無し、一部は3cmの右横ずれ)を確認(写真(D)-2)。いずれも東北東-西南西方向に軸をもつ伸長場によって生じたと推察。SAR干渉画像で検出された変位と調和的。
- 地点E: 未舗装林道であり、地表変位は確認できず。
- 地点F: 林道(砂利道)において、新鮮で大規模な開口亀裂を確認。林道とほぼ並行する亀裂であり、斜面下方側が沈下していることから、いずれも重力性変形によると推察。
- 地点G: 若栗トンネル内(南西口から約26m地点)において、トンネルのつなぎ目及び歩道にトンネルと直交方向(北西-南東走向)の新鮮な開口亀裂を確認(写真(G)-1)。開口幅1cm弱, 上下変位量約1cm(南西落ち: 写真(G)-2)。北東-南西方向に軸をもつ伸長場によって生じたと推察。
- 地点H: 地表変位は確認できず。

(*) 佐藤・八反地(2017) (http://www.ajg.or.jp/disaster/files/201612_ibaraki001.pdf) 及び
小俣・杉田(2017) (<http://jsaf.info/jishin/items/docs/20170105144457.pdf>) でも報告されている。